

また、県民一人ひとりが、SDGsへの理解を深め、行動に移す契機とするため、「清流の国ぎふ」SDGs推進フォーラムを開催した。

(2) SDGsに積極的な取組を行う市町村の支援<SDGs推進課>

『清流の国ぎふ』SDGs推進ネットワーク連携促進補助金により、市町村が実施するSDGsへの理解を醸成するための普及啓発事業を支援した。

5 体験を重視した環境教育の充実

(1) 河川を活用した環境教育事業

ア 脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアーの実施<脱炭素社会推進課>

森・里・川・海での自然体験や保全活動を通じて、流域のつながりや環境問題について親子で考え、環境にやさしい行動を学ぶ環境学習ツアーを14回実施し、235人の参加があった。

イ 川を題材とした総合的な学習の時間に取り組む団体に対する支援の実施<河川課>

将来を担う子どもたちに、身近にある川について学んでもらい、日々の暮らしを守る川の役割や環境に関する理解を深めてもらうことを目的に、平成14年度から川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組む小中学校等に対して、職員の講師派遣などによる支援を実施している。

令和4年度は、身近な川の生物調査や水質調査等の体験学習や、子どもたちの防災への意識を高めることを目的に、伝統的な防災施設や過去の水害、土砂災害に関する学習にも積極的に取り組み、県内52の小中学校等に対して支援活動を実施した。

第2節 環境にやさしいライフスタイルやビジネスマインドへの変容

1 知識を実践に変える県民運動の展開

(1) 「ぎふ清流COOL CHOICE」の推進<脱炭素社会推進課>

「ぎふ清流COOL CHOICE」をキャッチフレーズに、低炭素型の製品・サービス、ライフスタイルなど地球温暖化対策に資する“賢い選択”を促すため、手軽に取り組める事柄を紹介する動画をSNSで配信した。

【再掲】

(2) 環境教育副読本の作成<脱炭素社会推進課>

人の暮らしと自然環境との関係をわかりやすく説明し、省エネや節電など身近な生活の中で実践できる取組みを紹介する「清流の国ぎふ環境教育副読本」を作成し、県内の小学校5年生全員に配布した。

(3) 環境に配慮した消費行動の普及啓発の促進

ア 「グリーン購入」の促進<廃棄物対策課>

県の物品等の調達において、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を図るため、平成13年度から「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づき「岐阜県環境物品等調達方針」を毎年度定め、率先してグリーン購入を進めている。【再掲】

イ エシカル消費の促進<県民生活課>

中学校・高等学校向け消費者教育副読本を作成し、県内全中学校等（中学2年生）及び全高等学校等（高校1年生）に配布した。副読本にエシカル消費に関する内容を盛り込み、県民の理解促進、意識向上を図った。

(4) ぎふ食べきり運動の推進<廃棄物対策課>

平成30年度より、料理の食べ残し等の食品廃棄物を削減するため「ぎふ食べきり運動」の取組を開始。県内の飲食店や企業等1,223事業所（令和5年3月現在）を協力店・協力企業に登録し運動を推進したほか、InstagramやYouTubeを活用し食品ロス削減のためのレシピ等、情報発信を行った。

また、家庭で実践できる食品廃棄物削減の取組をInstagramやホームページで紹介するなど、啓発を行った。【再掲】

2 新しいライフスタイルへの移行促進

(1) コロナ禍を教訓とした新しいライフスタイルへの移行促進<脱炭素社会推進課>

コロナ禍を教訓とし、温室効果ガスの削減にもつながるオンライン会議など、新しいライフスタイルに関する普及啓発を行った。

(2) ワークーションの実現可能性に関する調査・検討の推進<農村振興課>

農村地域でのワークーションを推進するため、ワークーションのモニターツアー（計257泊）を実施した。【再掲】

